

## 園芸産地における生産振興と後継者の育成・確保

(対象：東部農業事務所桐生地域農業課)

### 【評価できる点】

- 管内の現状把握に基づく適切な課題設定になっていると考える。生産者の年齢構成では認定農業者だけでなく全農業者で調査するとより深刻な状況だと思える。担い手育成の重要性が明らかにされたことは評価できる。
- 新規就農者の確保・定着や収益性の向上を明確に目標化した点は適切。「毎年2名の新規就農者確保」や「45歳未満就農者の100%定着」など、具体的かつ測定可能な指標を設定したことは評価できる。
- 地域農業の持続的発展に向けて、新規就農者支援と生産振興を両輪で推進し、一定の成果を収めた。目標設定の明確さと、それに基づく具体的行動が成果につながっている点は高く評価できる。
- サポートチームによる巡回指導、農業基礎講座や交流会の開催、推進品目の導入など、計画に基づき多角的な取組が進められた。その結果、認定新規就農者が4名誕生し、ナスの出荷量や推進品目の導入も成果を上げている。交流の場や個別面談の仕組みが新規参入者の不安軽減と目標設定に寄与しており、着実な進展が見られた。
- 就農相談に係るフォーマット独自改変など利用者の目線に立った対応は評価点。就農希望者には心強い支えとなっていることがすばらしい。
- 生産量の維持、技術の伝承、産地の維持拡大、耕作放棄地の解消といった問題に対して、今回の活動を一つのモデルとして、新規就農者には将来的に選択肢のある取組みになるように期待する。また、今後も生産量を維持継続していくための検証に期待したい。
- 企業的経営者育成について、企業的であるかどうかに関わらず、経営者の視点での農業経営は必須であり、労働環境、人権配慮等実施すべき項目は多岐に亘ると考える。

アスパラガス栽培を中山間地に取り入れたことは評価できる。現状維持に甘んじず一歩踏み出したことがすばらしい。

- 過疎化地域における品目導入の取組は、産地化に向けどのような展開が見込まれるか興味深く確認させて頂いた。設定されている目標は現状維持を前提とした現実的な水準であるが、着実且つ地道な取組として如何に継続しまた展開していけるかが重要だと考える。

## 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

### 1 課題や目標設定に関すること

#### ◆意見・要望

- ・桐生市とみどり市にサポート体制を整備したことは評価したい。一方で、R6年度の実績まとめで就農支援組織整備数2となっているが、残された課題では「研修受入体制整備」となっている点は、どういう違いがあるのか。

#### 【回答】

桐生、みどり両市で整備した就農支援組織「サポートチーム」においては、新規就農者に対し定期的な巡回指導、個別面談を行い、また、就農希望者に対しても個別相談や就農計画作成支援を行ってきました。

このような取組の中、就農希望者の技術習得実習（研修）を受け入れる「研修受入農家」の掘起しや研修を受入れていただく農家の負担を減らす方策、研修生の就農準備の支援まで、「サポートチーム」での活動を広げていく必要があると考え、「研修受入体制整備」を課題として挙げさせていただきました。

今後は、就農相談から実際の就農までを広くカバーした支援を行っていきます。

### 2 活動内容に関すること

#### ◆意見・要望

- ・支援体制として、相談会等の開催が少ないように思う。即時対応できるよう SNS 等のツールを利用した取組も増やしても良いかと思う。

#### 【回答】

個別の就農相談については、関係機関が連携して随時実施しています（管内過去5年間平均で年間25.8件です）。

内、就農の可能性が高い方（例：栽培技術習得済みの者、農地や機械の入手の目途がある者など）については、関係機関と就農希望者が対面で相談をすることを「就農相談会」と称して、開催しています（R6年度：6回 R5年度：7回）。

また、就農希望者のうち継続的な支援が必要だと判断された方とは、タブレットの「チャット」機能を活用し随時、連絡相談を行っています。

更には、通信機器の発達に伴い、今後の相談方法について工夫を重ねてまいります。

- ・効果があったと紹介された「エクセルを使った就農計画作成指導」「個別面談時の目標設定シート」等の他地域への横展開をお願いしたい。

#### 【回答】

今後は、県内各農業事務所の担い手担当者が集まる場等で、桐生地域農業課での活動事例を紹介し、地域の実情に応じて議論を重ね修正し、個々の職員の経営指導技術の向上を目指せるようにしたいと考えています。

- ・産地維持のためには、担い手の確保と並行して経営基盤の安定化や販路戦略を強化することが不可欠だと感じた。今後は、関係機関が一層連携し、課題解決に向けた継続的な支援を進めていくことに期待したい。

**【回答】**

有益なご意見たいへんありがとうございます。ご意見を踏まえ、関係機関の連携のもと継続的な支援を展開していきます。

- ・空きハウスの有効活用も大切であるが、国や県の補助事業も取り入れるよう指導してはどうか？

**【回答】**

補助金活用希望者の要望や農業形態の実情等に応じて、最善な方法が選択できるよう、関係機関と連携し情報収集や情報共有に努め、適切な助言や指導を行っていきます。

- ・アスパラガスの販路拡大といった課題が早期に解決する事に期待する。アスパラガスの販路については、系統出荷を視野に入れた産地形成と販売戦略の強化が重要であると思う。

**【回答】**

ご指摘のとおり、当地域のアスパラガス安定販売には系統出荷が不可欠であると考えています。そのため、中山間地域だけでなく、管内全体で、生産量を確保できるよう、農家の栽培意欲を醸成し、産地の早期形成に取り組んでまいります。